



視察研修報告

◆総務常任委員会

【視察日】

平成28年11月24日～25日

【視察先】

○神奈川県藤沢市湘南広域都市行政協議会

○ファーマーズセンターみのれ立川

○埼玉県狭山市ふれあいファームセンター

【視察目的】

広域行政連携による『公共交通』の運用状況及び、本村でこの春開館予定である地域交流館内の『農産物直売所』の運営に関する研修

【視察内容】

1日目、54年ぶりの雪の降る中、藤沢市にある湘南広域都市行政協議会（藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町）で視察研修を行いました。事務局から平成28年度の事業計画や公共交通の行政連携について詳細な説明を受けました。それぞれの市町村の特性を活かした公共交通が運用されており、国

の交付金も毎年利用し、平成29年度末には新たなバス路線の開設を目指しています。

また、9市1町からなる県央湘南地区でのバス交通等の利便性に向けた研究も取り組んでいました。



公共交通の行政連携を研修

2日目は、立川市が地産地消・農地保全・農業生産力向上推進等を目的に市民交流の場として3年前に設置された直売所の、みのれ立川を視察しました。

JA東京みどりのセンター長の説明では、本村で予定している直売所と同じ売り場面積で、本年度の売り上げは2億2千万円を超えるということで参加者全員大変驚きま

した。また、運営は市とJAが管理運営協定を結びJA主体の運営協議会が事業を展開しています。

次に、狭山市のふれあいファームセンターの直売所を視察しました。ここは、株式会社アンフィーが運営する直売所で、地元の野菜が売場一杯に並ぶとのことでしたが、前日の雪で少し空きスペースがありました。

本村においても、公共交通の広域化の検討が始まりました。また、この春開館予定の地域交流館、直売所の運営等、積極的に取組み住民に喜ばれる施設となるよう努めていきます。

◆龍ヶ崎地方衛生組合

【視察日】

平成28年11月9日～11日

【視察先】

○宮古島メガソーラー実証研究設備

○宮古島市地下ダム資料館

○宮古島次世代エネルギーパーク

・エコランドPR館

・バイオメタノール生産施設
○沖縄県中頭郡西原町 東部清掃施設組合汚泥再生処理センター

【視察目的】

宮古島市の環境モデル都市行動に基づいた環境行政への取り組みや、東部清掃施設組合汚泥再生処理センターが行う、し尿等の処理、運営管理における衛生事務等の状況を視察研修することにより、さらなる広域衛生及び行財政の進展及び運営の参考とする。

【参加者】

石川 修 小泉 嘉忠

【視察内容】

宮古島市は、沖縄本島の南西に位置し、6つの島から構成され総面積204.5km²で78%を宮古島が占めております。豊富な自然や景観資源を有する一方、水に関する問題や食糧、エネルギーを島外に依存している状況にあるため、急速な社会資本整備や産業経済活動の活発化などにより、自然環境への負荷が地下水や海洋汚染等に表れるようになり、市民より環境保全の